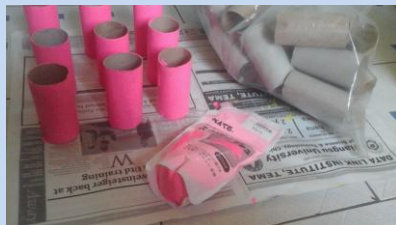


ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 54号

約一年ぶりの報告です。限られた授業の中、またその時の環境や状況によって授業が潰れてしまうこともあり、授業を楽しみにしてくれている子どもたちにごめんねという気持ちでいっぱいです。本当に子どもたちは、私の授業を楽しみにしてくれています。とても嬉しいことです。今回報告する授業は、子どもたちが直接、絵の具やくれよんを使ったものではありませんが、スクールガッシュを使った工作の取り組みを紹介します。本来なら子どもが絵の具で色を塗るところから授業をするのが一番良いのですが、授業時間の事や水の問題を考えると、色塗りは下準備として私が家で行っています。



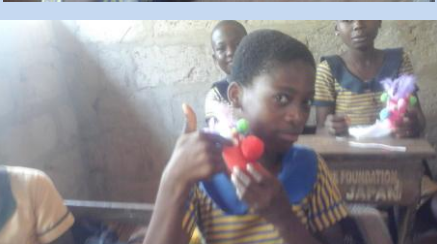
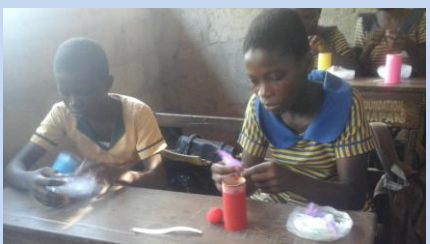
今回の工作は色付けされたトイレットペーパーの芯を使って顔を作りました。“フニーフェイス”と子どもたちに伝えました。飾りに使った羽根や丸いポンポン、目玉ビーズは首都アクラで購入しました。首都アクラは驚くほどこうした手芸工作材料が手に入ります。日本のようにすべて手に入るわけではありませんが、もう一時帰国する度に、工作材料をあれもこれもこれと買わないで済むようになりました。値段はもちろんそれなりに高いですが、子どもたちの創作活動に使えるものなのでとても嬉しいことです。このフニーフェイスの土台となったトイレットペーパーの芯の色塗りが下準備でかなり時間を要しました。



発色の良いスクールガッシュは二度塗りすることでさらにきれいに色づけられました。毎回このような色の付いた物を生徒に配る時に人気があるのがガーナフラッグに使われる赤、黄色、緑なのですが、今回はピンク色をリクエストしてくる生徒もいました。発色がたいへんよく惹かれたのではないのでしょうか。

今回取り組みしたのは5年生25名です。

報告日 2018年4月8日 TOSHKO



協賛 ペンてる株式会社様 スクールガッシュ